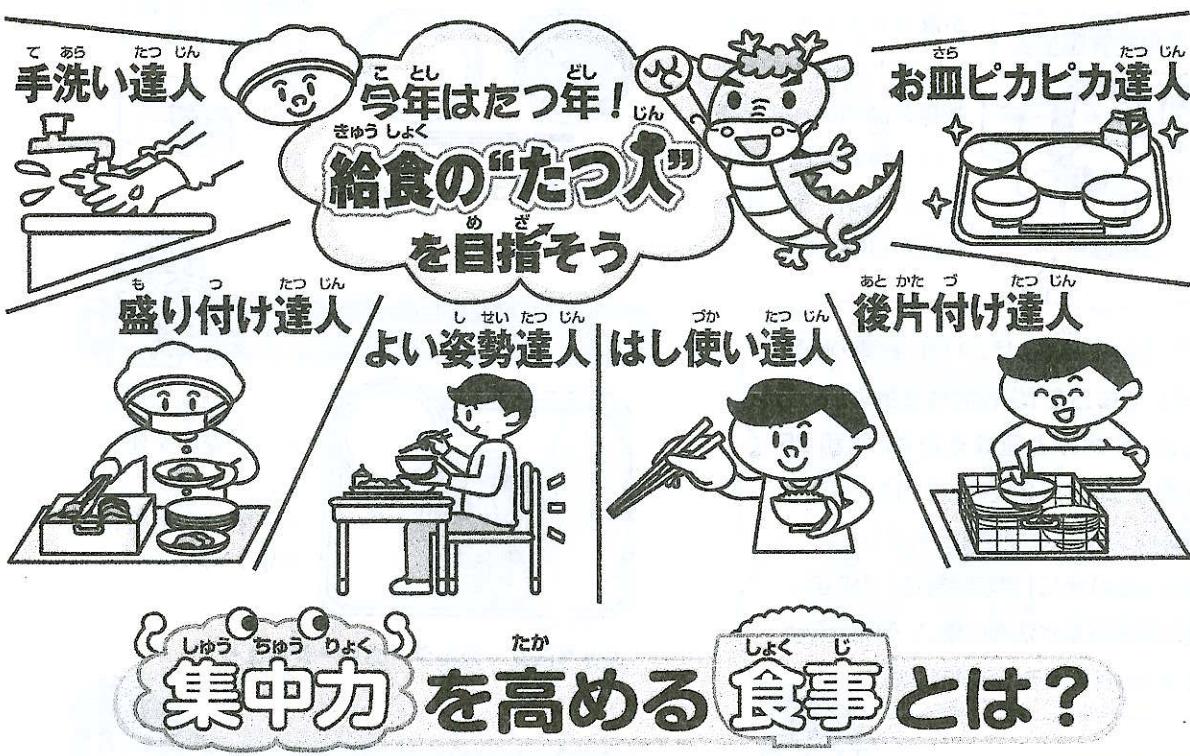


1月 給食たよみ



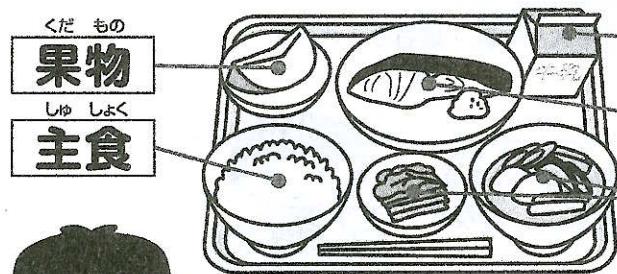
冬休み中は、日本の伝説文化に触れる機会も多かったのではないでしょうか。正月料理には、豊作や無病息災などの願いが込められていますが、昔も今も、その願いは変わらないことを実感します。

さて、今の学年やクラスで給食を食べられるのもあとわずかです。給食時間を持ちよく過ごせるように、今年の干支である「たつ(辰)」にちなみ、ひとりひとりが給食の「たつ(達)」人を目指してみませんか?



集中力を高める食事とは?

勉強を効率よく進めるには、早寝早起きをし、朝ごはんをしっかりと食べてから取りかかるのがおすすめです。1日のうち、脳が一番活発に動くのは午前中なので、朝ごはんで脳へエネルギーを補給することが、やる気や集中力を高めることにつながります。また、脳を活発にするには、よくかむことも重要です。スープやゼリー、飲料などで済ませずに、主食とおかずを組み合わせて食べることを心がけましょう。



牛乳・乳製品

主菜

副菜 (汁物含む)



はん つぶ た
ご飯は粒のまま食べる
ので、ゆっくり消化・
吸収され、腹持ちがよ
く、安定して脳へエネ
ルギーを供給します。



給食の組み合わせを参考にし、よくかんで食べましょう。

1/24~1/30 全国学校給食週間 給食の歴史&献立の変遷。



学校給食の起源は、明治22(1889)年にさかのぼります。山形県の大督寺というお寺の中にあった小学校で、お弁当を持ってこられない子どもたちに、昼食を無償で提供したことが始まりとされています。その後、全国へと広がりましたが、戦争による食料不足などの影響で中断されてしまいました。



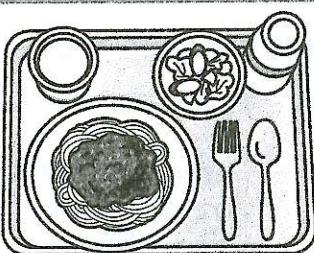
戦争が終わっても食料不足は続き、子どもたちの栄養状態が心配されたことから、学校給食の再開を求める声が高まりました。アメリカのLARA(アジア救援公認団体)から贈られた物資を使い、昭和22(1947)年1月に給食が再開しました。



★ 昭和21(1946)年12月24日に物資の贈呈式が行われ、この日を「学校給食感謝の日」としましたが、冬休みと重なるため、昭和25(1950)年度からは1月24日~30日を「全国学校給食週間」とすることが定められました。

★ 昭和29(1954)年に「学校給食法」が成立し、学校給食の実施体制が法的に整い、教育活動として位置づけられるようになりました。

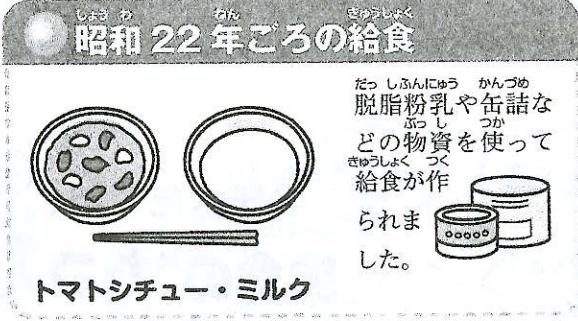
昭和40年代ごろの給食



ミートパスタ・牛乳・フレンチサラダ・プリン

パンの種類が増え、めん類も提供されるようになりました。脱脂粉乳のミルクは牛乳へと切り替わりました。

★ 子どもたちを取り巻く食環境が変化する中で、平成17(2005)年に「食育基本法」が成立。平成20(2008)年には、学校における食育の推進を図る観点から「学校給食法」が大幅に改正されました(2009年4月1日施行)。



トマトシチュー・ミルク



コッペパン・ミルク・カレーシチュー



カレーライス・牛乳・塩もみ・バナナ

